

製造番号 TD. 56-51056

第 号

平成 年 月 日

東急車輛製造株式会社 殿

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

試作
改造概要説明書

主要諸元比較表 (改造、~~試作~~組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社			種別用途		
		普通貨物					
項目	標準値	改造値	基準	項目	標準値	改造値	基準
車両重量 kg		7800	—	車名		東急	—
乗車定員人		—	—	型式		TD201-56	—
最大積載量 kg		18250	—	形状		セミトレーラ	—
車両総重量 kg		26050	≦26t (26t)	原動機の型式		—	—
長さ m		8.000	≦12	総排気量 l		—	—
幅 m		2.990	≦2.5	燃料の種類		第5輪から	—
高さ m		1.580	≦3.8	軸距 m		6.750+1.300 = 8.050	—
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m	3.500	—	最小回転半径 m		※ 9.6	≦12
	幅 m	2.990	—	オーバハングボデー後端まで m		0.950	≦4.4 (4.025)
	高さ m	—	—	荷台オフセット m		3.200	—
空車時荷重分布	前 kg	2000	—	タイヤ前		—	—
	後 kg	2800	—	サイズ後		11/70R22.5-14PR	—
積車時荷重分布	前 kg	9890	≦10t (10t)	積車時タイヤ荷重割合 %		80.8	≦100
	後 kg	8080	≦8.5t (8.5t)	最大安定傾斜角度	左	54	一般 ≧35 (30)
積載時前輪荷重割合 %		80.80	≧18 (20)	右		54	
積載時後輪荷重割合 %		—	—	車わく強度		qb/qa = 400/165 = 2.5 > 1.6	
制動力	踏力 - kg	35 km/h 2.2m	—	単軸強度		東急 TL 2555 型トレーラと同	
空気圧	7 kg/cm ²	—	—	操縦装置		—	
推回転数	No/N=	/	=	懸架装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	
強度	σa/τ=	/	=	制動装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	
制動装置				連結装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	
連結装置							

注1. 主要諸元比較表右肩()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。
 注2. 能力強度等検討値に必要としないものは、省略したものは×を記入すること。
 注. ※印は W-FV414JR 型トラクターと連結時の計算値を示す

目的	当該車両は建設機械の安全輸送を計る為新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 6750 + 1300 = 8050 mm とした
輪距	1940 mm とした
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ(6自 審第 184 号新型自動車 第 10999 号)と同一のものを使用している。
操縦装置	
制動装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ(6自 審第 184 号新型自動車 第 10999 号)と同一のものを使用している。 トラクタとトレーラが分離した時制動のかかる非常中継弁を取付けている
懸架装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ(6自 審第 184 号新型自動車 第 10999 号)と同一のものを使用している。 ウオーキングビームにより前後に揺動する
連結装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ(6自 審第 184 号新型自動車 第 10999 号)と同一のものを使用している。 JIS-D-6602, 6603 に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	使用率引車 三菱 W-FV414JR, W-FP419DR 型